



«2021年3月期»

決 算 説 明 会

2021年5月12日

エレマテック株式会社

東京証券取引所 市場1部 CODE : 2715

URL : <http://www.elematec.com>

I R 問い合わせ先 : 経営企画・人財開発部 E-mail: IR-info@elematec.com TEL: 03-3454-3526

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2021年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

決 算 報 告

2 0 2 1 年 3 月 期

e|em

決算ハイライト

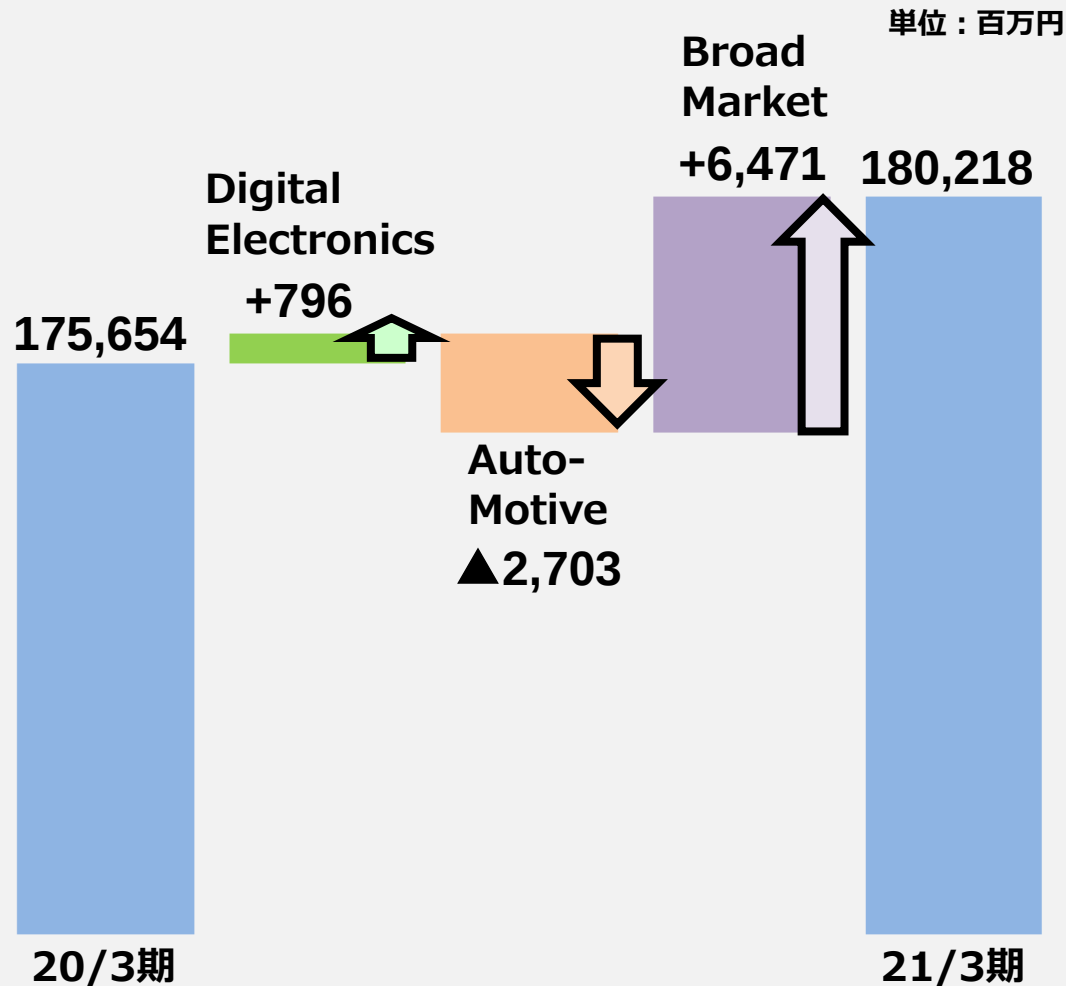
ODMビジネスの強化、新規顧客開拓、商材拡充に注力した結果、前期比で増収増益

単位：百万円	20/3期 (USD=108.70円)	21/3期 (USD=106.10円)	前期比	増減要因
売上高	175,654	180,218	2.6%	ドライブレコーダー等、 電子部品等の販売増加に伴う増収
売上総利益	17,152	17,437	1.7%	増収に伴う増益
売上総利益率	9.8%	9.7%	▲0.1pt	
販売管理費	12,386	11,974	▲3.3%	出張自粛による旅費交通費等 の減少
営業利益	4,765	5,463	14.6%	
経常利益	4,499	5,179	15.1%	
当期純利益	3,263	3,666	12.4%	
ROE	6.5%	7.0%	—	
EPS	79.70円	89.55円	—	
1株当たり配当金	32円	36円	—	

マーケット別売上増減要因

- ・ Digital Electronics : 新規顧客開拓により、電子部品向け関連部材の販売増加
商材の拡充により、ゲーム機関連部材等の販売増加
- ・ Automotive : 新型コロナウイルス感染症の影響により自動車生産が前年水準に満たず、販売減少
- ・ Broad Market : ODMビジネスの強化により、ドライブレコーダー等のアフターマーケット向け製品の販売増加

前期比 売上高増減内訳



Digital Electronics

【前期比】 +796百万円(+1.0%)
(79,688百万円 ⇒ 80,484百万円)

電気・電子部品、半導体	+2,793百万円
TOY・ホビー	+2,529百万円
カメラ・カメラモジュール	▲1,266百万円
液晶・タッチパネル・バックライト	▲812百万円
アミューズメント	▲561百万円
黒物家電	▲528百万円

Automotive

【前期比】 ▲2,703百万円(▲9.9%)
(27,187百万円 ⇒ 24,484百万円)

Broad Market

【前期比】 +6,471百万円(+9.4%)
(68,778百万円 ⇒ 75,249百万円)

アフターマーケット	+7,199百万円
モーター	+781百万円
OA機器	▲1,675百万円

販売費及び一般管理費の状況

単位：百万円

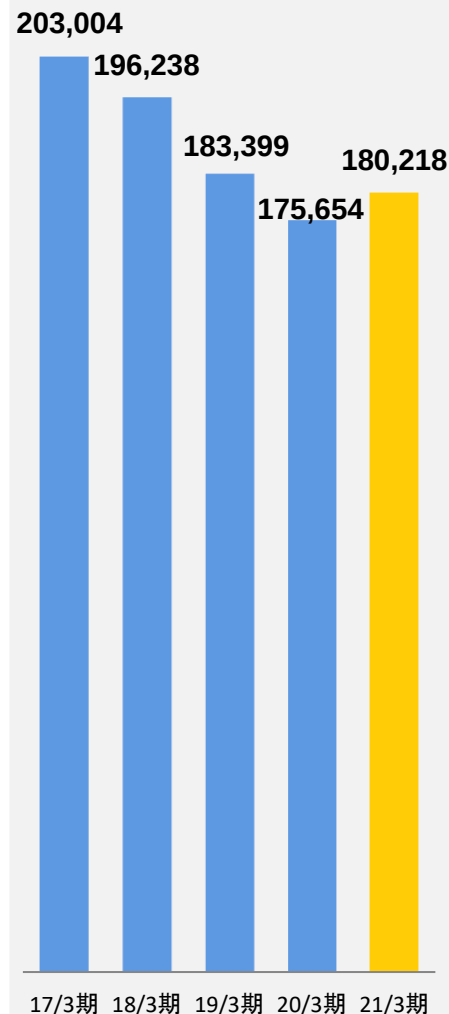
単位：百万円	20/3期	21/3期	増減額	増減要因
人件費	6,499	6,582	+82	昇給、昇格等による増加
荷造運賃	1,942	2,178	+236	増収及び運賃高騰影響による増加
その他	3,944	3,212	▲731	出張自粛による旅費交通費等の減少
販売管理費	12,386	11,974	▲412	

業績の推移

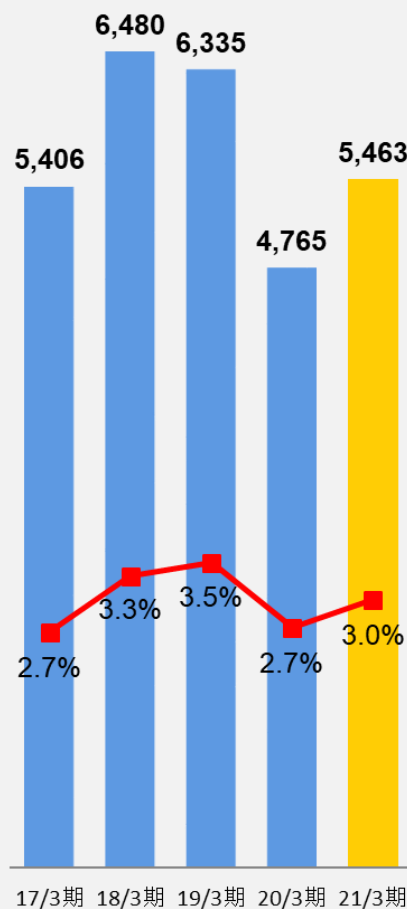
当期は、新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、前期比で増収増益

単位：百万円

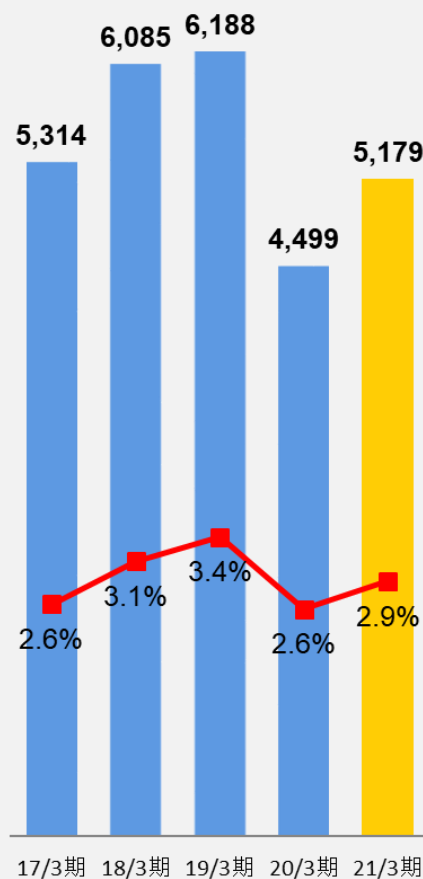
連結売上高 推移



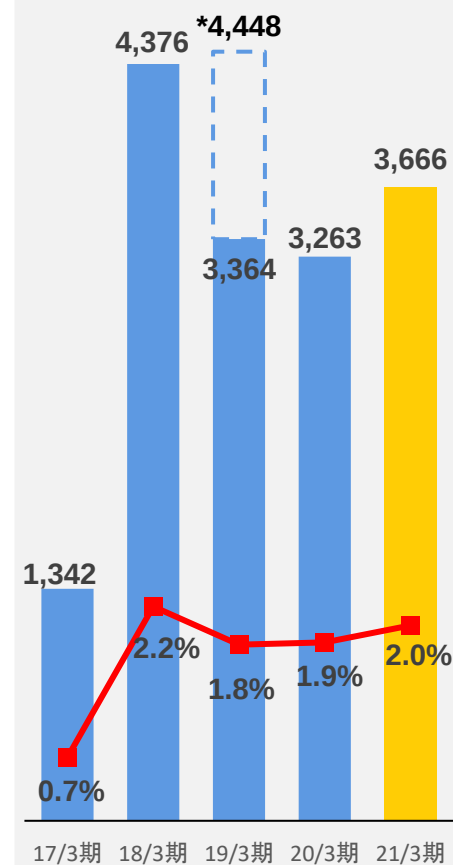
連結営業利益 推移



連結経常利益 推移



連結純利益 推移



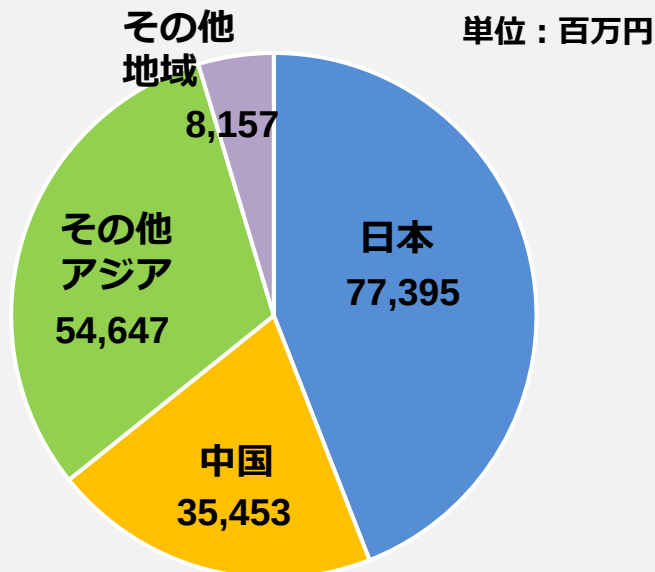
* 特殊要因(繰延税金負債)影響を排除した純利益

国内・海外売上高

- ・ 日本：ドライブレコーダー等は販売増加、自動車向け関連部材は販売減少
- ・ 海外：中国はゲーム機及び電子部品向け関連部材等の販売増加
その他アジアは黒物家電向け関連部材の販売減少、欧米は自動車向け関連部材の販売減少

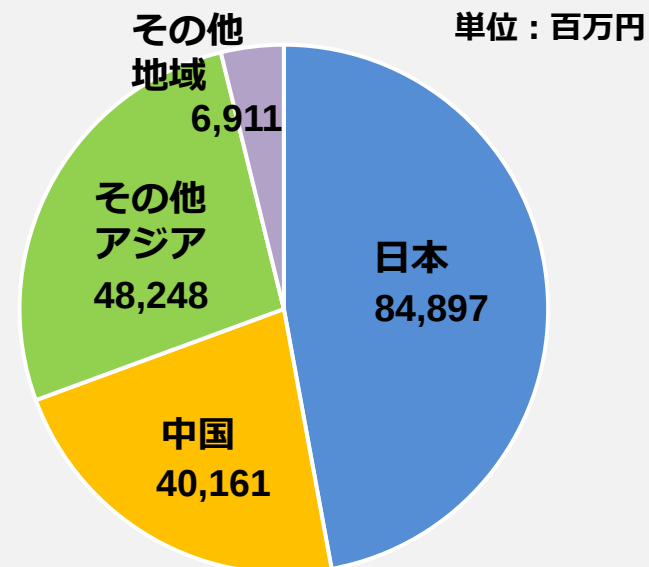
7

2020年3月期



2020/3月期	売上構成比
国内	44.1%
海外	55.9%
中国	20.2%
その他アジア	31.1%
その他地域	4.6%

2021年3月期



2021/3月期	売上構成比
国内	47.1%
海外	52.9%
中国	22.3%
その他アジア	26.8%
その他地域	3.8%

連結貸借対照表

自己資本比率は50%超を維持

バランスシート

単位：百万円

総資産 91,781
自己資本比率 55.5%

流動資産 86,276	流動負債 39,748
	固定負債 1,136
	純資産 50,896
固定資産 5,504	

2020年3月期

総資産 101,317
自己資本比率 53.7%

流動資産 95,333	流動負債 45,619
	固定負債 1,284
	純資産 54,413
固定資産 5,984	

2021年3月期

主な増減要因

流動資産 +9,056

- 現預金 +4,490
- 受取手形・売掛金 +4,380
- 棚卸資産 +234

固定資産 +479

- 投資その他 +552

負債 +6,018

- 支払手形・買掛金 +4,828
- 未払法人税等 +362

純資産 +3,517

- 利益剰余金 +2,520
- 為替換算調整勘定 +704

連結キャッシュ・フロー計算書

売上債権の回収が進んだ事、在庫が減少した事により運転資本改善

9

キャッシュフロー

単位：百万円

単位：百万円	20/3期	21/3期
営業C/F	※ 398	6,104
投資C/F	▲309	▲747
財務C/F	▲1,747	▲1,264
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲669	397
現金及び現金同等物の増減	▲2,327	4,490
現金及び現金同等物の期末残高	23,387	27,877

主な増減要因

営業CF

- 税金等調整前当期純利益 +5,179
- 売上債権の増加 ▲3,245
- 仕入債務の増加 +3,555
- 棚卸資産の減少 +101
- 法人税等の支払額 ▲1,284

投資CF

- 有形固定資産の取得 ▲676
(工具器具備品等)

財務CF

- 配当金の支払額 ▲1,146

※19/3期末が銀行休業日であった為、営業C/Fが一時的に減少

通 期 業 績 予 想

2 0 2 2 年 3 月 期

e|em

自動車向けを中心とした需要回復及び 完成品(ODM)ビジネスへの取り組みを強化し増収増益

単位：百万円	21/3期	22/3期	増減 (21/3期vs.22/3期)
売上高 ()は収益認識基準遡及適用後数値	180,218 (170,067)	* 181,000	+0.4% (+6.4%)
営業利益	5,463	6,500	+19.0%
経常利益	5,179	6,200	+19.7%
当期純利益	3,666	4,400	+20.0%
EPS	89.55円	107.46円	—
ROE	7.0%	7.9%	—

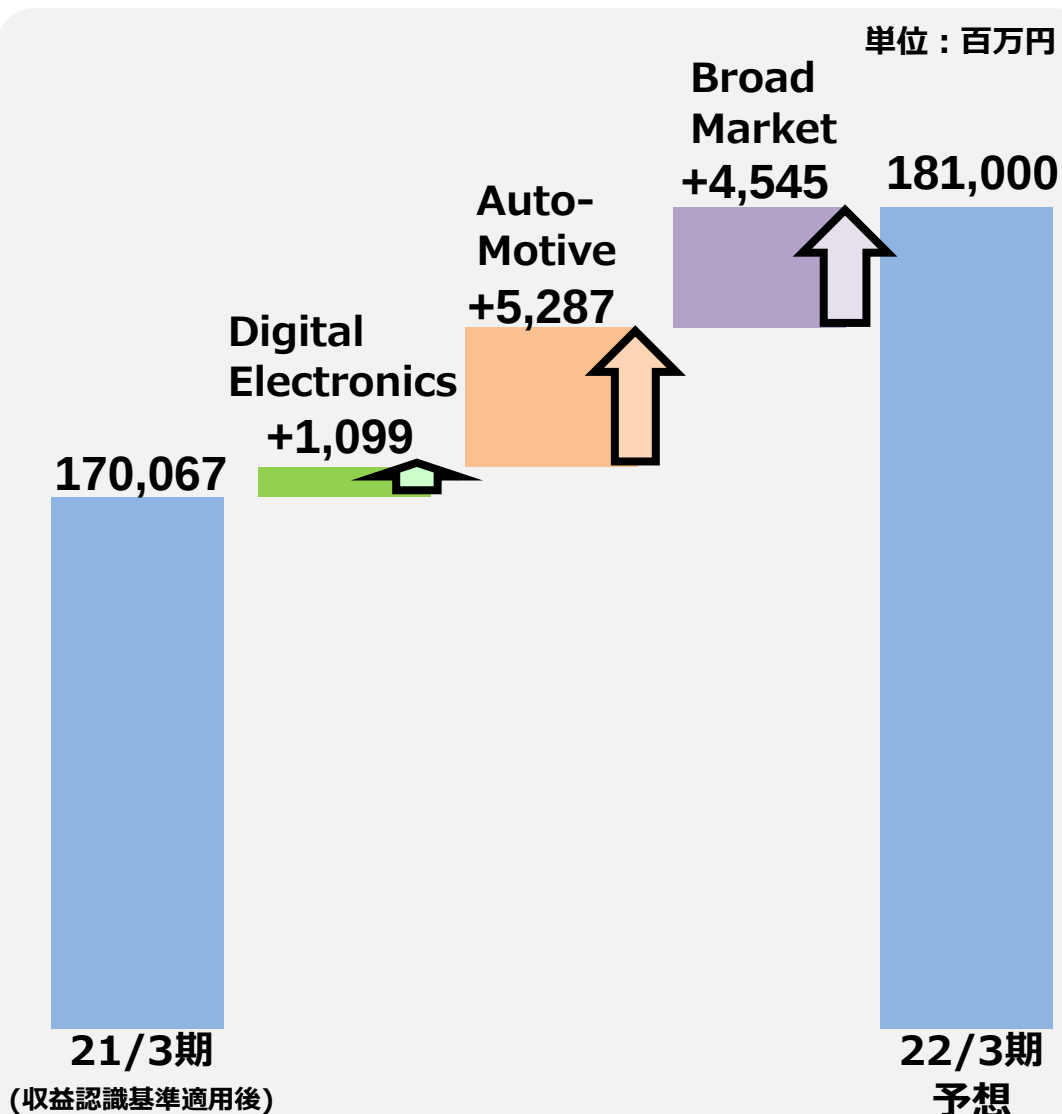
22/3期連結業績予想 前提為替レート USD= 100 円

*2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日)等を適用するため、上記の業績予想における売上高につきましては同基準等適用後の金額となっております。

連結業績予想 マーケット別売上増減要因

12

前期比 売上高増減内訳(収益認識基準適用後)



主な増減要因

*21/3期に収益認識基準を適用したと仮定して算出

Digital Electronics

【前期比】 +1,099百万円(+1.5%)
(74,570百万円 ⇒ 75,670百万円)

アミューズメント	+1,455百万円
TOY、ホビー	+1,152百万円
モバイル端末	▲1,651百万円

Automotive

【前期比】 +5,287百万円(+21.6%)
(24,482百万円 ⇒ 29,770百万円)

Broad Market

【前期比】 +4,545百万円(+6.4%)
(71,014百万円 ⇒ 75,559百万円)

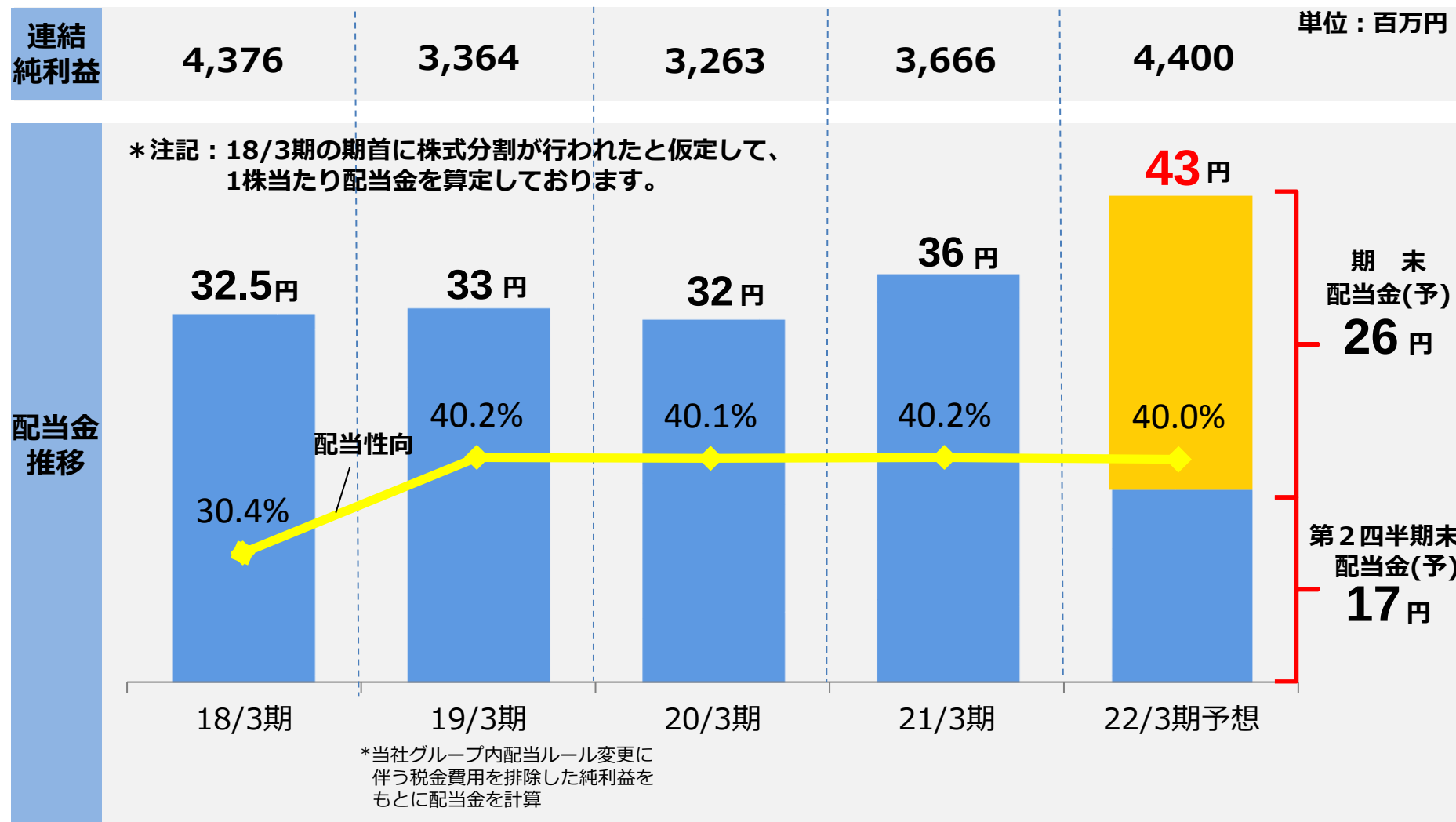
産業機器	+964百万円
白物家電	+824百万円
アフターマーケット	▲1,511百万円

配当方針及び配当予想

配当性向：40%以上

1株当たり年間配当金：43円（上場来最高値）

1株当たり年間配当金 推移(株式分割後)



中期経営戦略 (2021年3月期～2023年3月期)

エレマテック NEXXT

2022年3月期の取り組み

e|em

高付加価値型ビジネス

完成品ODMビジネスの展開

技術部

機構及び電気回路設計等の専門家集団
3D CAD、3Dプリンター等試作設備
保有し試作も可能

環境・品質保証部

高度な品質管理体制を確立
(ライン認定,開発,量産立上げ支援等)
品質保証に知見の深い人員採用により
品質管理体制増強

営業部・開発部

得意先約6,300社、仕入先約7,100社
とグローバルな営業基盤を活かした
提案力

営業・品質保証・設計の専門家集団により組成された

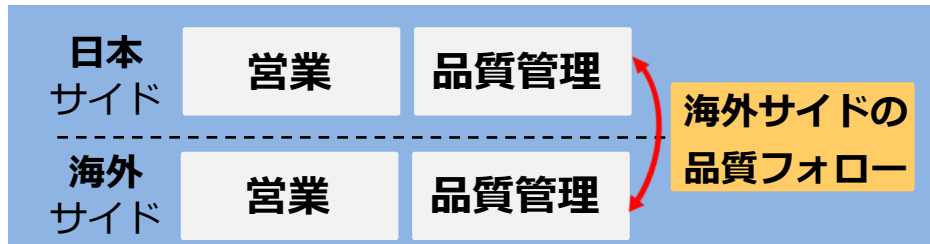
ODMチームを発足

ODMチームサポート体制

■ 企画・設計・品質・配送を一元管理



■ 日本・海外双方に営業、品質管理部隊を配置



高付加価値型ビジネス

完成品ODMビジネスの展開

ターゲット

既存顧客

セットメーカーを中心とした
国内外有力企業

顧客ニーズの深掘りを行い、
既存商材の販売に留まらず
ODM分野を新規開拓

新規顧客

大手量販店PB
(プライベートブランド)

PBを出している家具、雑貨、
家電、通信キャリア等への
参入

当社の強み

日本だけでなく、海外でも品質サポートが可能

豊富な情報ネットワーク(得意先/仕入先6,000社以上)

技術部・環境品質保証部の専門性と高い企画・提案力

企画・設計から量産まで一元管理が可能

海外有力顧客開拓

刺さる商材の提案強化

刺さる商材の拡充

高機能
商材

放熱用液体金属

フォルダブルスマートフォン用部材

エコ関連
商材

環境対応型梱包材

エコ関連スマートフォン用部材

特殊意匠

異種材料成形品

スマートフォン用発光インク

戦略

- 国内外有力商材の開拓・横展開
- 顧客ニーズに合わせた商材の使い分け

ターゲット

- 米系大手顧客
- 中国系大手顧客

【実績】

- ・ 米系、中国系有力顧客との直接取引口座の開設
- ・ 前期スペックイン案件の量産開始

海外有力顧客開拓

日系有力商材の展示

米国 サンノゼ

サンノゼに
ショールーム設置

【サンノゼ事務所】



【サンノゼ事務所・ショールーム】



ターゲット：米系有力顧客

米系有力企業の企画・開発拠点
近くにショールーム設置

* 2021年2月開設



- ・ 日系有力商材を中心に展示
- ・ デモによる実演を行い
現場で体感していただく
- ・ 人脈の構築及び顧客ニーズ
をタイムリーにキャッチ

自動車ビジネスの拡充

自動車のモジュールビジネス拡大

自社工場
活用

メーター液晶ボンディング

- ・ 需要が増加する液晶ボンディングビジネスに参入
- ・ 日本市場で数社しか対応出来ない高付加価値製品を受注

EV関連

バッテリー部品Assy

- ・ 設備設計、顧客近くの製造拠点の確保、作業人員の確保など顧客要求をクリア
- ・ PHEV、HEV用バッテリーパック部材Assyで数車種に展開

車載
ユニット

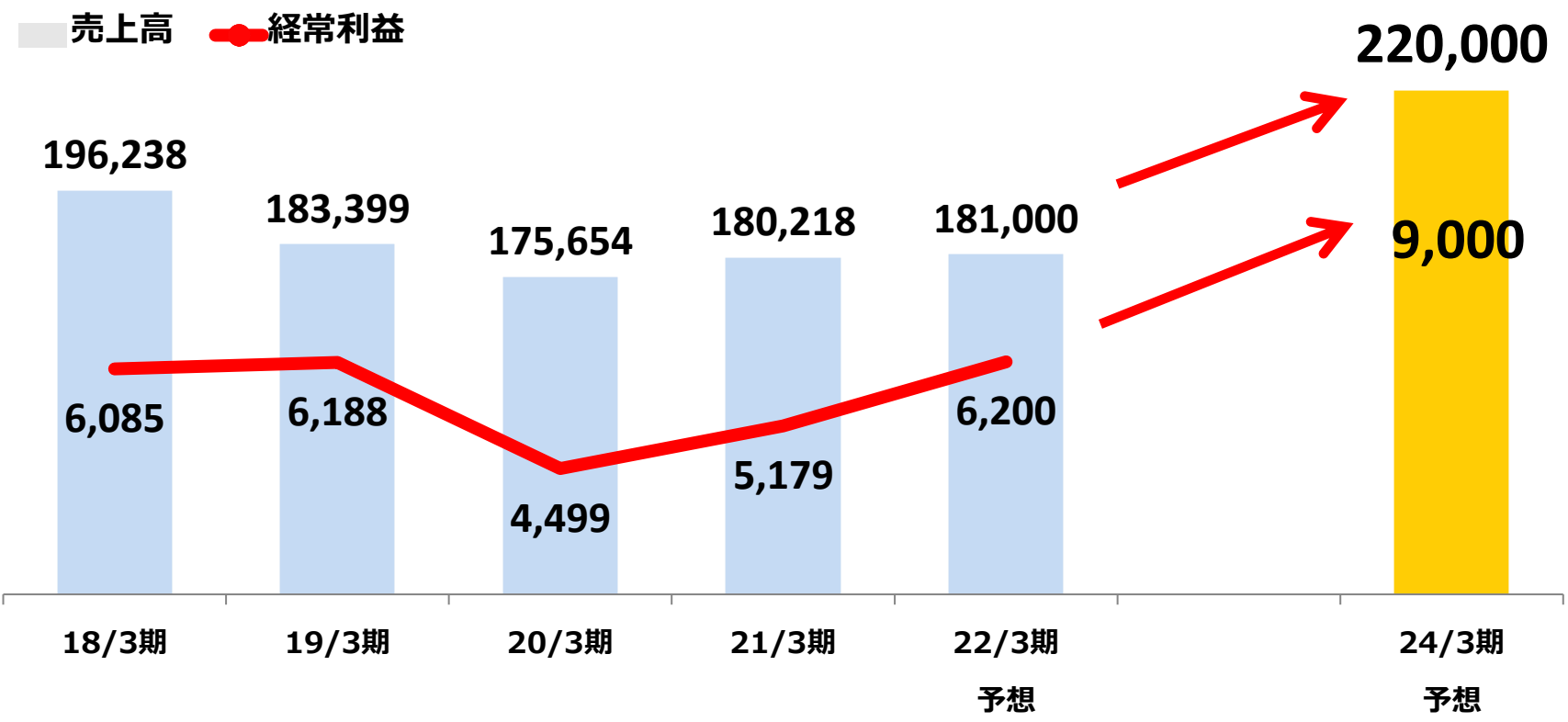
コックピットモジュール

- ・ 内装樹脂加飾部品と電装部品を一体で複数車種受注
- ・ 今後は技術力をアピールし設計からの受注を目指す

売上・利益推移(予想)

コロナウイルス感染症影響からの回復及び
高付加価値ビジネスの強化により、過去最高益の更新を目指す

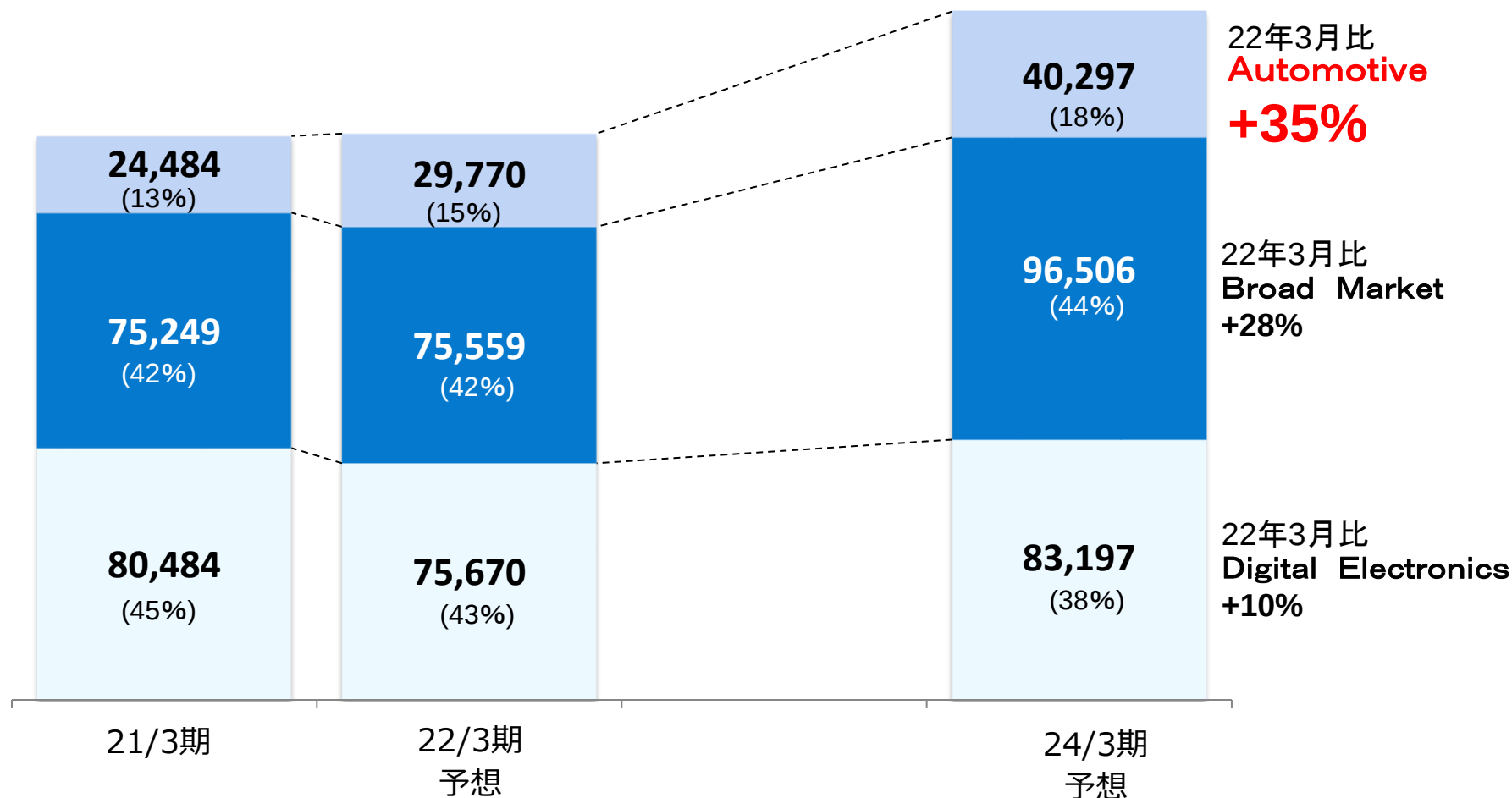
単位：百万円



*22/3期より収益認識基準を適用

連結業績予想(マーケット別)

Automotiveマーケットの成長を中心に更なる拡大を図る



補足資料

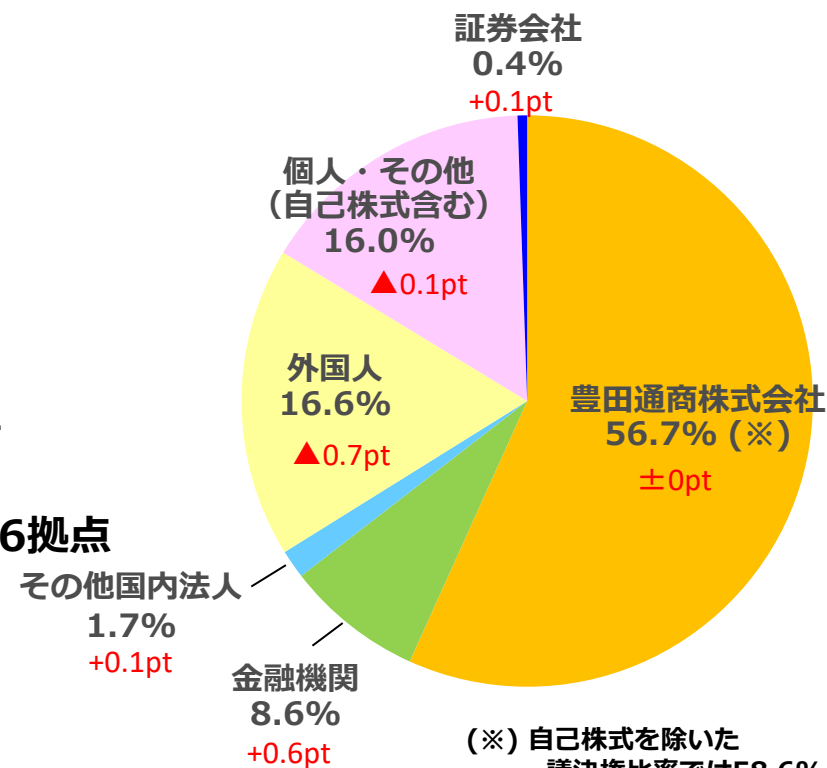
elem

会社概要

※上記の各データは2021年3月31日現在

商 号	エレマテック株式会社（英訳名 Elematec Corporation）
設 立	1947年4月（創立 1945年11月）
上 場	東証1部 2005年3月（東証2部：2003年12月、JASDAQ：2002年6月）
所 在 地	東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館19階
代 表 者	代表取締役会長 かとう じゅん 加藤 潤 代表取締役社長 よこで あきら 横出 彰
事 業 内 容	エレクトロニクス専門商社
従 業 員	【連結】 1,157名 【単体】 467名
営 業 拠 点	【国内販売拠点23ヶ所】 本社・本店・16支店・5営業所 【海外販売拠点39ヶ所】 中国 17拠点、その他アジア 16拠点 北中米 5拠点、欧州 1拠点
資 本 金	2,142百万円
発行済株式数	42,304千株
株 主 数	2,968名

所有者分布状況（2021年3月31日現在）



赤文字は、20/3末比の数字